

R. 3. 8. 6

「こころ便り」に「片方だけでは」
「絆のひとつ」を添え、お届け
いただきまして、ありがとうございます。
認知症になつても、雨の日に傘を
二本持つて、バス停に行くという
心情に、心を打たれました。
健常者と言われる人が、果して
真の健常者かと、思い返し、
なるお話です。
読みにくいノートを判読していただいた
て、ありがとうございます。
左手が痺れて、押さええる力がない
ために、行がズレてしまして
申し訳ありません。
後世への想いを、
解釈して、多くの人に伝えていた
だきまして、ありがとうございます。
「土木のこころ」に載つた以外
にも、鳥居信平（ノブハイ）という
人が、八田與一と同等の貢献を
しています。

パナマ運河建設では

青山 士(アキラ)が日本人が一人しか居ない中で活躍しています。

日本人全体が読書をしない傾向ですが、特に偉人伝記を読まないことは深刻なことです。日本の先人に、世界に誇るべき人物が果した功績を知り、自分も何か一つでも国家に貢献しようと思うようになればいいと思います。

日本の政治家が読書をしていないことは一目瞭然です。談話の中に知性の欠片もない姿を見ると、情なくなり、特に立民党の議員などは、週刊誌程度のレベルです。

これも国民が選んだのですから日本の有権者のレベルが低いということになり、ます。

日本の古人・先人から学ぶ習慣をつけたいものです。 鍵山秀三郎様